

2022年5月27日

病理診断学講座教授選考方針

病理診断学講座教授選考方針検討委員会

委員長 吉川 公彦

委員 嶋 緑倫

堀江 恭二

田中 康仁

本学病理診断講座の大林千穂教授が2022年3月末日をもって定年退職したことから同講座の教授選考を開始します。

本選考では、病理診断学を専門とし、品格と見識に優れ、社会規範を遵守し、奈良県立医科大学を愛し、本学が発展的に存続するために貢献できる人物を求めます。

特に下記の項目について考慮しながら選考します。

- 1 病理診断学に関する広範な知識、豊富な教育経験及び顕著な研究実績を有し、優れた指導力を発揮して学会においても存在感のある講座として発展させられること
- 2 最先端の研究、治験の実施、外部資金の獲得など病理診断学分野の研究に加え、臨床と基礎でのトランスレーショナルリサーチの発展に貢献し、後進育成を牽引する拠点として講座運営できること
- 3 関連診療科と緊密に連携・協力して、都道府県がん診療連携拠点病院及びがんゲノム医療連携病院としての病理診断の需要に応えること